

分析結果報告書〔10〕 2 / 20

< 2回目の分析結果>注1)

分析項目	注2)	分析結果 (μg/kg)	注3
塩化ビフェニル	Monochlorobiphenyl		
二塩化ビフェニル	Dichlorobiphenyl		
三塩化ビフェニル	Trichlorobiphenyl		
四塩化ビフェニル	Tetrachlorobiphenyl		
五塩化ビフェニル	Pentachlorobiphenyl		
六塩化ビフェニル	Hexachlorobiphenyl		
七塩化ビフェニル	Heptachlorobiphenyl		
八塩化ビフェニル	Octachlorobiphenyl		
九塩化ビフェニル	Nonachlorobiphenyl		
十塩化ビフェニル	Decachlorobiphenyl		
合計	P C B		

注1) 前記で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) GC/MSでは同族体の濃度及びPCB異性体の濃度を全て記入する。GC/ECDでの同族体の濃度については、可能であれば記入する。

注3) 分析結果は下記<分析結果(乾燥減量)>を用いずに実測した値とし、有効数字3桁で報告する。検出下限値未満の場合は検出下限値にく(不等号)をつけて有効数字1桁で該当する欄に記入する(例:<0.5)。なお、一旦受領した結果については訂正があっても受け付けないので、記入間違いや単位間違い等に注意する。(単位は、「μg/kg」である)

< 3回目の分析結果>注1)

分析項目	注2)	分析結果 (μg/kg)	注3)
塩化ビフェニル	Monochlorobiphenyl		
二塩化ビフェニル	Dichlorobiphenyl		
三塩化ビフェニル	Trichlorobiphenyl		
四塩化ビフェニル	Tetrachlorobiphenyl		
五塩化ビフェニル	Pentachlorobiphenyl		
六塩化ビフェニル	Hexachlorobiphenyl		
七塩化ビフェニル	Heptachlorobiphenyl		
八塩化ビフェニル	Octachlorobiphenyl		
九塩化ビフェニル	Nonachlorobiphenyl		
十塩化ビフェニル	Decachlorobiphenyl		
合計	P C B		

注1) 前記で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) GC/MSでは同族体の濃度及びPCB異性体の濃度を全て記入する。GC/ECDでの同族体の濃度については、可能であれば記入する。

注3) 分析結果は下記<分析結果(乾燥減量)>を用いずに実測した値とし、有効数字3桁で報告する。検出下限値未満の場合は検出下限値にく(不等号)をつけて有効数字1桁で該当する欄に記入する(例:<0.5)。なお、一旦受領した結果については訂正があっても受け付けないので、記入間違いや単位間違い等に注意する。(単位は、「μg/kg」である)

分析結果報告書〔10〕 3 / 20

< 4 回目の分析結果 > 注 1)

分析項目	注 2)	分析結果 (μg/kg)	注 3)
塩化ビフェニル	Monochlorobiphenyl		
二塩化ビフェニル	Dichlorobiphenyl		
三塩化ビフェニル	Trichlorobiphenyl		
四塩化ビフェニル	Tetrachlorobiphenyl		
五塩化ビフェニル	Pentachlorobiphenyl		
六塩化ビフェニル	Hexachlorobiphenyl		
七塩化ビフェニル	Heptachlorobiphenyl		
八塩化ビフェニル	Octachlorobiphenyl		
九塩化ビフェニル	Nonachlorobiphenyl		
十塩化ビフェニル	Decachlorobiphenyl		
合計	P C B		

注 1) 前記で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注 2) GC/MS では同族体の濃度及び PCB 異性体の濃度を全て記入する。GC/ECD での同族体の濃度については、可能であれば記入する。

注 3) 分析結果は下記<分析結果(乾燥減量)>を用いずに実測した値とし、有効数字 3 桁で報告する。検出下限値未満の場合は検出下限値にく(不等号)をつけて有効数字 1 桁で該当する欄に記入する(例:< 0.5)。なお、一旦受領した結果については訂正があっても受け付けないので、記入間違いや単位間違い等に注意する。(単位は、「μg/kg」である)

< 5 回目の分析結果 > 注 1)

分析項目	注 2)	分析結果 (μg/kg)	注 3)
塩化ビフェニル	Monochlorobiphenyl		
二塩化ビフェニル	Dichlorobiphenyl		
三塩化ビフェニル	Trichlorobiphenyl		
四塩化ビフェニル	Tetrachlorobiphenyl		
五塩化ビフェニル	Pentachlorobiphenyl		
六塩化ビフェニル	Hexachlorobiphenyl		
七塩化ビフェニル	Heptachlorobiphenyl		
八塩化ビフェニル	Octachlorobiphenyl		
九塩化ビフェニル	Nonachlorobiphenyl		
十塩化ビフェニル	Decachlorobiphenyl		
合計	P C B		

注 1) 前記で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注 2) GC/MS では同族体の濃度及び PCB 異性体の濃度を全て記入する。GC/ECD での同族体の濃度については、可能であれば記入する。

注 3) 分析結果は下記<分析結果(乾燥減量)>を用いずに実測した値とし、有効数字 3 桁で報告する。検出下限値未満の場合は検出下限値にく(不等号)をつけて有効数字 1 桁で該当する欄に記入する(例:< 0.5)。なお、一旦受領した結果については訂正があっても受け付けないので、記入間違いや単位間違い等に注意する。(単位は、「μg/kg」である)

< 分析結果(乾燥減量) >

項目	分析結果 (%)	注 1)
乾燥減量		

注 1) 分析結果は有効数字 3 桁で記入する。なお、複数回測定している場合には代表値(例えば、平均値)を 1 つ記入する。

分析結果報告書〔10〕 4 / 20

<分析方法等>

分析開始月日	月	日	
分析終了月日	月	日	
分析方法	1. パックドカラム-ガスクロマトグラフ (ECD) 法 2. キャピラリーカラム-ガスクロマトグラフ (ECD) 法 3. キャピラリーカラム-ガスクロマトグラフ四重極型質量分析法 4. キャピラリーカラム-ガスクロマトグラフ高分解能型質量分析法 5. その他 ()		

<アルカリ分解、抽出>

試料の量り取り量 1回目 2回目 3回目 4回目 5回目	() g	() g	() g	() g	() g
アルカリ分解 アルカリ (1 mol/L 水酸化カリウムのエタノール溶液)の使用量 分解 温度 時間 ろ過に使用したろ紙の種類 アルカリ分解以外の抽出方法：	1. 行う 2. 行わない 配布試料 1g 当たり () mL () °C () 時間 1. セルロース 2. ガラス繊維 3. 石英 4. その他 () 1. ソックスレー抽出 2. アセトン振とう抽出 3. 高速溶媒抽出 4. その他 ()				
抽出 溶媒の種類 抽出回数 溶媒量 (全使用量)	1. ヘキサン 2. その他 () () 回 () mL				
サロゲート物質 添加 添加のタイミング 注 1)	1. 添加する 2. 添加しない 1. アルカリ分解前に添加 (試料に添加) 2. アルカリ分解後に添加 3. 抽出後に添加 (抽出液に添加) 4. その他 ()				

注 1) GC/MSによる分析の場合に添加する

<クリーンアップ>

A 硫酸処理 A-1 硫酸処理の回数 A-2 硫酸処理後の濃縮	1. 行う 2. 行わない () 回 1. KD 2. ロータリーエバポレーター 3. その他 ()				
B アセトニトリル・ヘキサン分配 B-1 アセトニトリル・ヘキサン分配後の濃縮	1. 行う 2. 行わない 1. KD 2. ロータリーエバポレーター 3. その他 ()				
C カラムクロマトグラフィ C-1 カラムクロマトグラムの種類数 C-2 充填剤及び溶出溶媒の種類と量 注 2)	1. 行う 2. 行わない 1. 1種類 2. 2種類以上 シリカゲル () g ア) シリカゲル () g 溶媒の種類 () 溶媒量 () mL イ) フロリジル () g 溶媒の種類 () 溶媒量 () mL ウ) 多層シリカゲルカラム () g 溶媒の種類 () 溶媒量 () mL エ) スルホキシド基結合シリカゲル () g 溶媒の種類 () 溶媒量 () mL オ) アルミナ () g 溶媒の種類 () 溶媒量 () mL				
D 硫黄除去処理 D-1 方法	1. 行う 2. 行わない 1. シリカゲルカラム溶出液を還元銅で処理 2. その他 ()				
E その他の処理 E-1 方法	1. 方法 ()				
シリンジスパイク 添加 添加物質	1. 添加する 2. 添加しない 1. ペリレン-d12 2. その他 ()				
分析用試料液 溶媒の種類 試料液量	1. ヘキサン 2. その他 () () mL 注 2)				

注 1) カラムクロマトグラムを 2 種類以上使用した場合は、該当する充填剤すべてについて記入する

分析結果報告書〔10〕 5 / 20

<分析条件 1> 注1)

対応物質 1~10塩素化物 (複数回答可)	1. 1~10塩化物を全てこの条件で分析する 2. 下記の塩化物をこの条件で分析し、残りは他の条件で分析する 1. 塩化ビフェニル 2. 二塩化ビフェニル 3. 三塩化ビフェニル 4. 四塩化ビフェニル 5. 五塩化ビフェニル 6. 六塩化ビフェニル 7. 七塩化ビフェニル 8. 八塩化ビフェニル 9. 九塩化ビフェニル 10. 十塩化ビフェニル
パックカラム カラム材質 担体 液相 内径 長さ	1. ガラス 2. その他() 1. ガスクロムQ 2. クロモソルブG 3. クロモソルブW 4. その他() 1. OV-1 2. OV-17 3. その他() ()mm ()m
キャピラリーカラム 液相	1. 100%ジメチルポリキサン 2. 5%ジフェニル95%ジメチルポリキサン 3. 5%フェニル相当95%ジメチルポリシルフェニレン 4. 8% フェニル相当ポリカルボランシロキサン 5. ビスシアノプロピルシアノプロピルフェノールポリシロキサン 6. その他()
昇温条件 初期 1回目の昇温 2回目の昇温 3回目の昇温 4回目の昇温 (5回以上の昇温の場合) 昇温回数	温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 ()回
注入 量 注入温度 注入方式	()μL ()℃ 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. パルススプリット 5. パルススプリットレス 6. その他()
キャリヤガス 種類 流量 注 2) 圧力 注 2)	1. 窒素 2. ヘリウム 3. その他() ()単位:1. mL/分 2. cm/秒 ()単位:1. psi 2. kPa 3. その他()
ガスの種類 流量 検出器温度 メイクアップガスの種類 流量 圧力	1. 窒素 2. アルゴンメタン混合 () mL/分 ()℃ 1. 窒素 2. ヘリウム 3. その他() () mL/分 () kPag (ゲージ圧)
MS 型式 装置型式 イオン検出法 測定時の分解能 イオン化 方法 電圧 電流 イオン源温度	1. Auto Specシリーズ 2. JMS700シリーズ 3. JMS800シリーズ、4. JMS(2. 3. 以外) 5. MAT95シリーズ 6. SX102 7. 5972シリーズ 8. 5973シリーズ 9. 5975シリーズ 10. 6890シリーズ 11. QP 5000シリーズ 12. QP5050シリーズ 13. QP2010 14. オートマスシリーズ 15. その他() 1. 単収束 2. 二重収束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. タンデム(MS/MS) 6. その他() 1. SIM法 2. マスクマトグラム法 3. その他() () 1. EI 2. NCI 3. その他() ()V ()μA ()℃

注1) GC/MS 又は GC/ECD により該当する箇所に記入する。

注2) 流量又は圧力を記入する。

分析結果報告書〔10〕 6 / 20

<分析条件 2>

対応物質 1～10塩素化物 (複数回答可)	1. 1～10塩化物を全てこの条件で分析する 2. 下記の塩化物をこの条件で分析し、残りは他の条件で分析する 1. 塩化ビフェニル 2. 二塩化ビフェニル 3. 三塩化ビフェニル 4. 四塩化ビフェニル 5. 五塩化ビフェニル 6. 六塩化ビフェニル 7. 七塩化ビフェニル 8. 八塩化ビフェニル 9. 九塩化ビフェニル 10. 十塩化ビフェニル
GC 型式	1. CP-3800 2. GC-17シリーズ 3. GC2010シリーズ 4. 5890シリーズ 5. 6890シリーズ 6. 7890シリーズ 7. Trace GC 8. その他()
パックカラム カラム材質 担体 液相 内径 長さ	1. ガラス 2. その他() 1. ガスクロムQ 2. クロモソルブG 3. クロモソルブW 4. その他() 1. OV-1 2. OV-17 3. その他() ()mm ()m
キャピラリーカラム 型式 内径 長さ 膜厚	1. Aquatic 2. Aquatic2 3. BPX5 4. BPX50 5. BPX-DXN 6. BPX-DXN I 7. BPX-DXN II 8. CP-Ci18 9. CP-Ci188 10. DB1 11. DB624 12. DB5 (MS) 13. DB17 (MS, HT) 14. ENV5 (MS) 15. ENV17 (MS) 16. HP1 17. HP5 (MS) 18. HT8 (PCB) 19. InertCaP1 (MS) 20. InertCaP5 (MS) 21. InertCaP25 (MS) 22. PTE5 23. RH12 (MS) 24. Rtx5 (MS) 25. Rtx50 (MS) 26. Rtx624 (MS) 27. Rtx2330 28. SPB1 29. SPB5 30. SP2331 31. TC5 32. その他() ()mm ()m ()μm
昇温条件 初期 1回目の昇温 2回目の昇温 3回目の昇温 4回目の昇温 (5回以上の昇温の場合) 昇温回数	温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 ()回
注入 量 注入温度 注入方式	()μL ()℃ 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. ハルストースプリット 5. ハルストースプリットレス 6. その他
キャリヤガス 種類 流量 注 2) 圧力 注 2)	1. 窒素 2. ヘリウム 3. その他() ()単位:1. mL/分 2. cm/秒 ()単位:1. psi 2. kPa 3. その他()
メイクアップガス 種類 流量 注 2) 圧力 注 2)	1. 窒素 2. ヘリウム 3. その他() ()単位:1. mL/分 2. cm/秒 ()単位:1. psi 2. kPa 3. その他
MS 型式 装置型式 イオン検出法 測定時の分解能 イオン化 方法 電圧 電流 イオン源温度	1. Auto Specシリーズ 2. JMS700シリーズ 3. JMS800シリーズ、4. JMS(2. 3. 以外) 5. MAT95シリーズ 6. SX102 7. 5972シリーズ 8. 5973シリーズ 9. 5975シリーズ 10. 6890シリーズ 11. QP 5000シリーズ 12. QP5050シリーズ 13. QP2010 14. オートマスシリーズ 15. その他() 1. 単収束 2. 二重収束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. タンデム(MS/MS) 6. その他() 1. SIM法 2. マスクマトグラム法 3. SRM 4. その他() () 1. EI 2. NCI 3. その他() ()eV ()μA ()℃

注1) GC/MS 又は GC/ECD により該当する箇所に記入する。

注2) 流量又は圧力を記入する。

分析結果報告書〔10〕 7 / 20

<分析条件3> 注1)

対応物質 1~10塩素化物 (複数回答可)	1. 1~10塩化物を全てこの条件で分析する 2. 下記の塩化物をこの条件で分析し、残りは他の条件で分析する 1. 塩化ビフェニル 2. 二塩化ビフェニル 3. 三塩化ビフェニル 4. 四塩化ビフェニル 5. 五塩化ビフェニル 6. 六塩化ビフェニル 7. 七塩化ビフェニル 8. 八塩化ビフェニル 9. 九塩化ビフェニル 10. 十塩化ビフェニル
GC 型式	1. CP-3800 2. GC-17シリーズ 3. GC2010シリーズ 4. 5890シリーズ 5. 6890シリーズ 6. 7890シリーズ 7. Trace GC 8. その他()
パック・カラム カラム材質 担体 液相 内径 長さ	1. ガラス 2. その他() 1. ガスクロムQ 2. クロモソルブG 3. クロモソルブW 4. その他() 1. OV-1 2. OV-17 3. その他() ()mm ()m
キャピラリーカラム 型式 内径 長さ 膜厚	1. Aquatic 2. Aquatic2 3. BPX5 4. BPX50 5. BPX-DXN 6. BPX-DXN I 7. BPX-DXN II 8. CP-Ci18 9. CP-Ci188 10. DB1 11. DB624 12. DB5 (MS) 13. DB17 (MS, HT) 14. ENV5 (MS) 15. ENV17 (MS) 16. HP1 17. HP5 (MS) 18. HT8 (PCB) 19. InertCap1 (MS) 20. InertCap5 (MS) 21. InertCap25 (MS) 22. PTE5 23. RH12 (MS) 24. Rtx5 (MS) 25. Rtx50 (MS) 26. Rtx624 (MS) 27. Rtx2330 28. SPB1 29. SPB5 30. SP2331 31. TC5 32. その他() ()mm ()m ()μm
昇温条件 初期 1回目の昇温 2回目の昇温 3回目の昇温 4回目の昇温 (5回以上の昇温の場合) 昇温回数	温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 ()回
注入 量 注入温度 注入方式	()μL ()℃ 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. ハルスト・スプリット 5. ハルスト・スプリットレス 6. その他
キャリヤガス 種類 流量 注2) 圧力 注2)	1. 窒素 2. ヘリウム 3. その他() ()単位:1. mL/分 2. cm/秒 ()単位:1. psi 2. kPa 3. その他()
メイクアップガス 種類 流量 注2) 圧力 注2)	1. 窒素 2. ヘリウム 3. その他() ()単位:1. mL/分 2. cm/秒 ()単位:1. psi 2. kPa 3. その他
MS 型式 装置型式 イオン検出法 測定時の分解能 イオン化 方法 電圧 電流 光源温度	1. Auto Specシリーズ 2. JMS700シリーズ 3. JMS800シリーズ、4. JMS(2. 3. 以外) 5. MAT95シリーズ 6. SX102 7. 5972シリーズ 8. 5973シリーズ 9. 5975シリーズ 10. 6890シリーズ 11. QP 5000シリーズ 12. QP5050シリーズ 13. QP2010 14. オートマスシリーズ 15. その他() 1. 単収束 2. 二重収束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. タンデム(MS/MS) 6. その他() 1. SIM法 2. マスクマトグラム法 3. その他() () 1. EI 2. NCI 3. その他() ()V ()μA ()℃

注1) GC/MS 又は GC/ECD により該当する箇所に記入する。

注2) 流量又は圧力を記入する。

分析結果報告書〔10〕 8 / 20

<標準物質>

標準物質（液）の種類 P C B（対象物質）	1. KC-300~KC-600の等量混合物 2. 1~10塩素化物を各ひとつ以上含む混合物 3. その他（ ）
サロゲート 種類	1. 使用しない 2. 使用する 1. 1~10塩素化物を各ひとつ以上含む混合物 2. その他（ ）
シリンジスパイク 種類	1. 使用しない 2. 使用する 1. ペリレン-d 12 2. その他（ ）
標準物質（液）の製造メーカー P C B（対象物質）	1. CIL 2. Wellington 3. Accu Standard 4. その他（ ）
サロゲート	1. CIL 2. Wellington 3. Accu Standard 4. その他（ ）
シリンジスパイク	1. CIL 2. Wellington 3. Accu Standard 4. その他（ ）
検量線作成用標準液 標準液の調製からの経過月 P C B（対象物質）	（ ）月
サロゲート	（ ）月
シリンジスパイク	（ ）月
希釈溶媒	1. ヘキサン 2. ノナン 3. トルエン 4. その他（ ）
保管期間サロゲート	1. 数日以内（用時調製） 2. 1か月未満 2. 1か月以上約（ ）ヶ月
調製溶媒シリンジスパイク	1. ヘキサン 2. ノナン 3. トルエン 4. アセトン 5. その他（ ）
調製溶媒	1. ヘキサン 2. ノナン 3. トルエン 4. アセトン 5. その他（ ）

<検量線の作成>

検量線 作成方法（定量法）	1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 4. サロゲートを用いた内標準法 5. その他（ ）
作成点数	（ ）
作成範囲濃度 注1)	最小（ ）～ 最大（ ） μg/L 注1)
繰り返し数	（ ）
1 試料当たりサロゲート添加量 濃度 添加量（ ） μL	（ ） μg/mL
1 試料液当たりシリンジスパイク 添加量 濃度	（ ） μg/mL
添加量	（ ） μL
検量線作成用標準測定から試料測定終了までの装置性能評価	1. 実施した 2. 実施しなかった
感度変動評価方法	1. RRFの変動 2. 検量線の傾き（RF）の変動 3. その他（ ）
評価結果	1. 合格した 2. 不合格だった
保持時間変動	1. 実施した 2. 実施しなかった
評価方法	1. 絶対保持時間 2. 相対保持指標
評価結果	1. 合格した 2. 不合格だった
グロマトグラム評価	1. 実施した 2. 実施しなかった
ピーク形状	1. 実施した 2. 実施しなかった
ベースライン	1. 実施した 2. 実施しなかった
妨害ピーク	1. 実施した 2. 実施しなかった

注1) 標準として KC-等量混合液を用いた場合は総 PCB 濃度を記入する。異性体・同族体の混合液を用いた場合は一成分当たりの濃度を記入する。

注2) 検量線作成時の RF の変動（最大値）を記入する。

注3) 検量線作成時の保持時間の変動（最大値）を記入する。

分析結果報告書 [10] 9 / 20

<内標準物質 (サロゲート及びシリンジスパイク) の添加量と回収率> (GC/MSの場合に記入する)

内標準物質	サロゲート		シリンジスパイク
	添加量 (ng)	回収率 (%)	添加量 (ng)
塩化ビフェニル (4-Chloro ^[13C12] biphenyl)			
二塩化ビフェニル (4,4' -Dichloro ^[13C12] biphe nyl)			
三塩化ビフェニル (2,4',5'-Trichloro ^[13C12] biphe nyl)			
四塩化ビフェニル (2,2',5, 5'-Tetrachloro ^[13C12] biphenyl)			
五塩化ビフェニル (2,3',4, 4',5'-Pentachloro ^[13C12] biphenyl)			
六塩化ビフェニル (2,2',4, 4',5,5'- Hexachloro ^[13C12] biphenyl)			
七塩化ビフェニル (2,2',3,4,4',5,5'-He ptachloro ^[13C12] biphenyl)			
八塩化ビフェニル (2,2',3, ',4,4',5,5'-Octachloro ^[13C12] biphenyl)			
九塩化ビフェニル (2,2',3, 3',4,4',5,5',6'-Nonachloro ^[13C12] biphenyl)			
十塩化ビフェニル (2,2',3,3',4,4',5,5',6, 6'-Decachloro ^[13C12] biphenyl)			
ペリレン-d 12			
その他 ()			
その他 ()			
その他 ()			
その他 ()			
その他 ()			
その他 ()			
その他 ()			
その他 ()			
その他 ()			
その他 ()			
その他 ()			

<空試験値及び感度係数> (空試験値が検出されない場合は、その項目の欄は記入しない)

対象物質	空試験値 (μg/kg) 注1)	感度係数 (RF) 注2)	検出下限 (μg/kg) 注3)
塩化ビフェニル			
二塩化ビフェニル			
三塩化ビフェニル			
四塩化ビフェニル			
五塩化ビフェニル			
六塩化ビフェニル			
七塩化ビフェニル			
八塩化ビフェニル			
九塩化ビフェニル			
十塩化ビフェニル			
P C B			

注1) 同族体 (同一塩素数の全異性体) としての値を記入する。試料濃度 (μg/kg) に換算する。

注2) GC/MSの場合に記入する。同族体中の全異性体の平均RFを記入する。

注3) 同族体としての値および全体の値 (PCBとしての検出下限) を記入する。試料濃度 (μg/kg) に換算する。

分析結果報告書 [10] 10 / 20

<測定 (定量) 質量数> (四重極型MSの場合)

対象物質	質量数 注)			
塩化ビフェニル	1.188.0	2.190.0	3.152.0	4.その他 ()
二塩化ビフェニル	1.222.0	2.224.0	3.152.0	4.その他 ()
三塩化ビフェニル	1.256.0	2.258.0	3.186.0	4.その他 ()
四塩化ビフェニル	1.289.9	2.291.9	3.293.9	4.その他 ()
五塩化ビフェニル	1.325.9	2.323.9	3.327.9	4.その他 ()
六塩化ビフェニル	1.359.8	2.361.8	3.357.8	4.その他 ()
七塩化ビフェニル	1.393.8	2.395.8	3.397.8	4.その他 ()
八塩化ビフェニル	1.429.8	2.427.8	3.431.8	4.その他 ()
九塩化ビフェニル	1.461.7	2.463.7	3.465.7	4.その他 ()
十塩化ビフェニル	1.497.7	2.499.7	3.495.7	4.その他 ()

注) 各塩素化合物ごとに定量に用いた質量数の一つを選択する。

質量数の表記は、記載しているマニュアル等により異なることがあるため、質量数1以下の値では近い質量数を選択する。

<測定 (定量) 質量数> (高分解能MSの場合)

対象物質	質量数 注)		
塩化ビフェニル	1.188.0393	2.190.0364	3.その他 ()
二塩化ビフェニル	1.222.0003	2.223.9974	3.その他 ()
三塩化ビフェニル	1.255.9613	2.257.9587	3.その他 ()
四塩化ビフェニル	1.289.9224	2.291.9195	3.その他 ()
五塩化ビフェニル	1.323.8834	2.325.8865	3.その他 ()
六塩化ビフェニル	1.359.8415	2.361.8386	3.その他 ()
七塩化ビフェニル	1.393.8025	2.395.7996	3.その他 ()
八塩化ビフェニル	1.427.7630	2.429.7606	3.その他 ()
九塩化ビフェニル	1.461.7246	2.463.7216	3.その他 ()
十塩化ビフェニル	1.497.6826	2.499.6797	3.その他 ()

注) 各塩素化合物ごとに定量に用いた質量数の一つを選択する。

質量数の表記は、記載しているマニュアル等により異なることがあるため、質量数0.01以下の値では近い質量数を選択する。

分析結果報告書〔10〕 12 / 20

< 2回目の分析結果>注1)

分析項目	注2)	分析結果 (μg/kg)	注3)
塩化ビフェニル	Monochlorobiphenyl		
二塩化ビフェニル	Dichlorobiphenyl		
三塩化ビフェニル	Trichlorobiphenyl		
四塩化ビフェニル	Tetrachlorobiphenyl		
五塩化ビフェニル	Pentachlorobiphenyl		
六塩化ビフェニル	Hexachlorobiphenyl		
七塩化ビフェニル	Heptachlorobiphenyl		
八塩化ビフェニル	Octachlorobiphenyl		
九塩化ビフェニル	Nonachlorobiphenyl		
十塩化ビフェニル	Decachlorobiphenyl		
合計	P C B		

注1) 前記で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) GC/MSでは同族体の濃度及びPCB異性体の濃度を全て記入する。GC/ECDでの同族体の濃度については、可能であれば記入する。

注3) 分析結果は下記<分析結果(乾燥減量)>を用いずに実測した値とし、有効数字3桁で報告する。検出下限値未満の場合は検出下限値に<(不等号)>をつけて有効数字1桁で該当する欄に記入する(例:<0.5)。なお、一旦受領した結果については訂正があっても受け付けないので、記入間違いや単位間違い等に注意する。(単位は、「μg/kg」である)

< 3回目の分析結果>注1)

分析項目	注2)	分析結果 (μg/kg)	注3)
塩化ビフェニル	Monochlorobiphenyl		
二塩化ビフェニル	Dichlorobiphenyl		
三塩化ビフェニル	Trichlorobiphenyl		
四塩化ビフェニル	Tetrachlorobiphenyl		
五塩化ビフェニル	Pentachlorobiphenyl		
六塩化ビフェニル	Hexachlorobiphenyl		
七塩化ビフェニル	Heptachlorobiphenyl		
八塩化ビフェニル	Octachlorobiphenyl		
九塩化ビフェニル	Nonachlorobiphenyl		
十塩化ビフェニル	Decachlorobiphenyl		
合計	P C B		

注1) 前記で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) GC/MSでは同族体の濃度及びPCB異性体の濃度を全て記入する。GC/ECDでの同族体の濃度については、可能であれば記入する。

注3) 分析結果は下記<分析結果(乾燥減量)>を用いずに実測した値とし、有効数字3桁で報告する。検出下限値未満の場合は検出下限値に<(不等号)>をつけて有効数字1桁で該当する欄に記入する(例:<0.5)。なお、一旦受領した結果については訂正があっても受け付けないので、記入間違いや単位間違い等に注意する。(単位は、「μg/kg」である)

分析結果報告書〔10〕 13 / 20

< 4回目の分析結果>注1)

分析項目	注2)	分析結果 (μg/kg)	注3)
塩化ビフェニル	Monochlorobiphenyl		
二塩化ビフェニル	Dichlorobiphenyl		
三塩化ビフェニル	Trichlorobiphenyl		
四塩化ビフェニル	Tetrachlorobiphenyl		
五塩化ビフェニル	Pentachlorobiphenyl		
六塩化ビフェニル	Hexachlorobiphenyl		
七塩化ビフェニル	Heptachlorobiphenyl		
八塩化ビフェニル	Octachlorobiphenyl		
九塩化ビフェニル	Nonachlorobiphenyl		
十塩化ビフェニル	Decachlorobiphenyl		
合計	P C B		

注1) 前記で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) GC/MSでは同族体の濃度及びPCB異性体の濃度を全て記入する。GC/ECDでの同族体の濃度については、可能であれば記入する。

注3) 分析結果は下記<分析結果(乾燥減量)>を用いずに実測した値とし、有効数字3桁で報告する。検出下限値未満の場合は検出下限値にく(不等号)をつけて有効数字1桁で該当する欄に記入する(例:<0.5)。なお、一旦受領した結果については訂正があっても受け付けないので、記入間違いや単位間違い等に注意する。(単位は、「μg/kg」である)

< 5回目の分析結果>注1)

分析項目	注2)	分析結果 (μg/kg)	注3)
塩化ビフェニル	Monochlorobiphenyl		
二塩化ビフェニル	Dichlorobiphenyl		
三塩化ビフェニル	Trichlorobiphenyl		
四塩化ビフェニル	Tetrachlorobiphenyl		
五塩化ビフェニル	Pentachlorobiphenyl		
六塩化ビフェニル	Hexachlorobiphenyl		
七塩化ビフェニル	Heptachlorobiphenyl		
八塩化ビフェニル	Octachlorobiphenyl		
九塩化ビフェニル	Nonachlorobiphenyl		
十塩化ビフェニル	Decachlorobiphenyl		
合計	P C B		

注1) 前記で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) GC/MSでは同族体の濃度及びPCB異性体の濃度を全て記入する。GC/ECDでの同族体の濃度については、可能であれば記入する。

注3) 分析結果は下記<分析結果(乾燥減量)>を用いずに実測した値とし、有効数字3桁で報告する。検出下限値未満の場合は検出下限値にく(不等号)をつけて有効数字1桁で該当する欄に記入する(例:<0.5)。なお、一旦受領した結果については訂正があっても受け付けないので、記入間違いや単位間違い等に注意する。(単位は、「μg/kg」である)

<分析結果(乾燥減量)>

項目	分析結果 (%)	注1)
乾燥減量		

注1) 分析結果は有効数字3桁で記入する。なお、複数回測定している場合には代表値(例えば、平均値)を1つ記入する。

分析結果報告書〔10〕 14 / 20

<分析方法等>

分析開始月日	月	日	
分析終了月日	月	日	

分析方法	1. パックドカラム-ガスクロマトグラフ (ECD) 法 2. キャピラリーカラム-ガスクロマトグラフ (ECD) 法 3. キャピラリーカラム-ガスクロマトグラフ四重極型質量分析法 4. キャピラリーカラム-ガスクロマトグラフ高分解能型質量分析法 5. その他 ()
------	---

<アルカリ分解、抽出>

試料の量り取り量 1回目 2回目 3回目 4回目 5回目	() g () g () g () g () g
アルカリ分解 アルカリ (1 mol/L 水酸化カリウムのエタノール溶液)の使用量 分解 温度 時間 ろ過に使用したろ紙の種類	1. 行う 2. 行わない () mL () °C () 時間 1. セルロース 2. ガラス繊維 3. 石英 4. その他 ()
抽出 溶媒の種類 抽出回数 溶媒量 (全使用量)	1. ヘキサン 2. その他 () () 回 () mL
サロゲート物質 添加 添加個所 注 1)	1. 添加する 2. 添加しない 1. アルカリ分解前に添加 (試料に添加) 2. アルカリ分解後に添加 3. 抽出後に添加 (抽出液に添加) 4. その他 ()

注 1) GC/MSによる分析の場合に添加する

<クリーンアップ>

A 硫酸処理 A-1 硫酸処理の回数 A-2 硫酸処理後の濃縮	1. 行う 2. 行わない () 回 1. KD 2. ロータリーエバポレーター 3. その他 ()
B アセトニトリル・ヘキサン分配 B-1 アセトニトリル・ヘキサン分配後の濃縮	1. 行う 2. 行わない 1. KD 2. ロータリーエバポレーター 3. その他 ()
C シリカゲルクロマトグラフィー C-1 カラムクロマトグラム管への充填量 C-2 溶出 溶媒の種類 溶媒の量 C-3 シリカゲルクロマトグラフィー後の濃縮	1. 行う 2. 行わない シリカゲル () g 硫酸ナトリウム () g 1. ヘキサン 2. その他 () () mL 1. KD 2. ロータリーエバポレーター 3. その他 ()
D 硫黄除去処理 D-1 方法	1. 行う 2. 行わない 1. シリカゲルカラム溶出液を還元銅で処理 2. その他 ()
E その他の処理 E-1 方法	1. 方法 ()
シリンジスパイク 添加 添加物質	1. 添加する 2. 添加しない 1. ペリレン-d12 2. その他 ()
分析用試料液 溶媒の種類 試料液量	1. ヘキサン 2. その他 () () mL 注 2)

注 2) GC/ECD又はGC/MS分析用試料液の量であり、GCへの注入量でないことに注意する。

分析結果報告書 [10] 15 / 20

<分析条件1> 注1)

対応物質 1~10塩素化物 (複数回答可)	1. 1~10塩化物を全てこの条件で分析する 2. 下記の塩化物をこの条件で分析し、残りは他の条件で分析する 1. 塩化ビフェニル 2. 二塩化ビフェニル 3. 三塩化ビフェニル 4. 四塩化ビフェニル 5. 五塩化ビフェニル 6. 六塩化ビフェニル 7. 七塩化ビフェニル 8. 八塩化ビフェニル 9. 九塩化ビフェニル 10. 十塩化ビフェニル
GC 型式	1. CP-3800 2. GC-17シリーズ 3. GC2010シリーズ 4. 5890シリーズ 5. 6890シリーズ 6. 7890シリーズ 7. Trace GC 8. その他()
パックカラム カラム材質 担体 液相 内径 長さ	1. ガラス 2. その他() 1. ガスクロムQ 2. クロモルブG 3. クロモルブW 4. その他() 1. OV-1 2. OV-17 3. その他() ()mm ()m
キャピラリーカラム 型式 内径 長さ 膜厚	1. Aquatic 2. Aquatic2 3. BPX5 4. BPX50 5. BPX-DXN 6. BPX-DXN I 7. BPX-DXN II 8. CP-Ci18 9. CP-Ci188 10. DB1 11. DB624 12. DB5 (MS) 13. DB17 (MS, HT) 14. ENV5 (MS) 15. ENV17 (MS) 16. HP1 17. HP5 (MS) 18. HT8 (PCB) 19. InertCaP1 (MS) 20. InertCaP5 (MS) 21. InertCaP25 (MS) 22. PTE5 23. RH12 (MS) 24. Rtx5 (MS) 25. Rtx50 (MS) 26. Rtx624 (MS) 27. Rtx2330 28. SPB1 29. SPB5 30. SP2331 31. TC5 32. その他() ()mm ()m ()μm
昇温条件 初期 1回目の昇温 2回目の昇温 3回目の昇温 4回目の昇温 (5回以上の昇温の場合) 昇温回数	温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 ()回
注入 量 注入温度 注入方式	()μL ()℃ 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. ハルストスプリット 5. ハルストスプリットレス 6. その他
キャリヤガス 種類 流量 注2) 圧力 注2)	1. 窒素 2. ヘリウム 3. その他() ()単位:1. mL/分 2. cm/秒 ()単位:1. psi 2. kPa 3. その他()
メイクアップガス 種類 流量 注2) 圧力 注2)	1. 窒素 2. ヘリウム 3. その他() ()単位:1. mL/分 2. cm/秒 ()単位:1. psi 2. kPa 3. その他
MS 型式 装置型式 イオン検出法 測定時の分解能 イオン化 方法 電圧 電流 イオン源温度	1. Auto Specシリーズ 2. JMS700シリーズ 3. JMS800シリーズ、4. JMS(2. 3. 以外) 5. MAT95シリーズ 6. SX102 7. 5972シリーズ 8. 5973シリーズ 9. 5975シリーズ 10. 6890シリーズ 11. QP 5000シリーズ 12. QP5050シリーズ 13. QP2010 14. オートマスシリーズ 15. その他() 1. 単収束 2. 二重収束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. タンデム(MS/MS) 6. その他() 1. SIM法 2. マスクマトグラム法 3. その他() () 1. EI 2. NCI 3. その他() ()V ()μA ()℃

注1) GC/MS 又は GC/ECD により該当する箇所に記入する。

注2) 流量又は圧力を記入する。

分析結果報告書 [10] 16 / 20

<分析条件 2>

対応物質 1~10塩素化物 (複数回答可)	1. 1~10塩化物を全てこの条件で分析する 2. 下記の塩化物をこの条件で分析し、残りは他の条件で分析する 1. 塩化ビフェニル 2. 二塩化ビフェニル 3. 三塩化ビフェニル 4. 四塩化ビフェニル 5. 五塩化ビフェニル 6. 六塩化ビフェニル 7. 七塩化ビフェニル 8. 八塩化ビフェニル 9. 九塩化ビフェニル 10. 十塩化ビフェニル
GC 型式	1. CP-3800 2. GC-17シリーズ 3. GC2010シリーズ 4. 5890シリーズ 5. 6890シリーズ 6. 7890シリーズ 7. Trace GC 8. その他()
パックカラム カラム材質 担体 液相 内径 長さ	1. ガラス 2. その他() 1. ガスクロムQ 2. クロモルブG 3. クロモルブW 4. その他() 1. OV-1 2. OV-17 3. その他() ()mm ()m
キャピラリーカラム 型式 内径 長さ 膜厚	1. Aquatic 2. Aquatic2 3. BPX5 4. BPX50 5. BPX-DXN 6. BPX-DXN I 7. BPX-DXN II 8. CP-Ci18 9. CP-Ci188 10. DB1 11. DB624 12. DB5 (MS) 13. DB17 (MS, HT) 14. ENV5 (MS) 15. ENV17 (MS) 16. HP1 17. HP5 (MS) 18. HT8 (PCB) 19. InertCaP1 (MS) 20. InertCaP5 (MS) 21. InertCaP25 (MS) 22. PTE5 23. RH12 (MS) 24. Rtx5 (MS) 25. Rtx50 (MS) 26. Rtx624 (MS) 27. Rtx2330 28. SPB1 29. SPB5 30. SP2331 31. TC5 32. その他() ()mm ()m ()μm
昇温条件 初期 1回目の昇温 2回目の昇温 3回目の昇温 4回目の昇温 (5回以上の昇温の場合) 昇温回数	温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 ()回
注入 量 注入温度 注入方式	()μL ()℃ 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. ハルストスプリット 5. ハルストスプリットレス 6. その他
キャリヤガス 種類 流量 注 2) 圧力 注 2)	1. 窒素 2. ヘリウム 3. その他() ()単位:1. mL/分 2. cm/秒 ()単位:1. psi 2. kPa 3. その他()
メイクアップガス 種類 流量 注 2) 圧力 注 2)	1. 窒素 2. ヘリウム 3. その他() ()単位:1. mL/分 2. cm/秒 ()単位:1. psi 2. kPa 3. その他
MS 型式 装置型式 イオン検出法 測定時の分解能 イオン化 方法 電圧 電流 イオン源温度	1. Auto Specシリーズ 2. JMS700シリーズ 3. JMS800シリーズ、4. JMS(2. 3. 以外) 5. MAT95シリーズ 6. SX102 7. 5972シリーズ 8. 5973シリーズ 9. 5975シリーズ 10. 6890シリーズ 11. QP 5000シリーズ 12. QP5050シリーズ 13. QP2010 14. オートマスシリーズ 15. その他() 1. 単収束 2. 二重収束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. タンデム(MS/MS) 6. その他() 1. SIM法 2. マスクマトグラム法 3. その他() () 1. EI 2. NCI 3. その他() ()V ()μA ()℃

注1) GC/MS 又は GC/ECD により該当する箇所に記入する。

注2) 流量又は圧力を記入する。

分析結果報告書 [10] 17 / 20

<分析条件3> 注1)

対応物質 1~10塩素化物 (複数回答可)	1. 1~10塩化物を全てこの条件で分析する 2. 下記の塩化物をこの条件で分析し、残りは他の条件で分析する 1. 塩化ビフェニル 2. 二塩化ビフェニル 3. 三塩化ビフェニル 4. 四塩化ビフェニル 5. 五塩化ビフェニル 6. 六塩化ビフェニル 7. 七塩化ビフェニル 8. 八塩化ビフェニル 9. 九塩化ビフェニル 10. 十塩化ビフェニル
GC 型式	1. CP-3800 2. GC-17シリーズ 3. GC2010シリーズ 4. 5890シリーズ 5. 6890シリーズ 6. 7890シリーズ 7. Trace GC 8. その他()
パックカラム カラム材質 担体 液相 内径 長さ	1. ガラス 2. その他() 1. ガスクロムQ 2. クロモソルブG 3. クロモソルブW 4. その他() 1. OV-1 2. OV-17 3. その他() ()mm ()m
キャピラリーカラム 型式 内径 長さ 膜厚	1. Aquatic 2. Aquatic2 3. BPX5 4. BPX50 5. BPX-DXN 6. BPX-DXN I 7. BPX-DXN II 8. CP-Ci18 9. CP-Ci188 10. DB1 11. DB624 12. DB5 (MS) 13. DB17 (MS, HT) 14. ENV5 (MS) 15. ENV17 (MS) 16. HP1 17. HP5 (MS) 18. HT8 (PCB) 19. InertCaP1 (MS) 20. InertCaP5 (MS) 21. InertCaP25 (MS) 22. PTE5 23. RH12 (MS) 24. Rtx5 (MS) 25. Rtx50 (MS) 26. Rtx624 (MS) 27. Rtx2330 28. SPB1 29. SPB5 30. SP2331 31. TC5 32. その他() ()mm ()m ()μm
昇温条件 初期 1回目の昇温 2回目の昇温 3回目の昇温 4回目の昇温 (5回以上の昇温の場合) 昇温回数	温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 ()回
注入量 注入温度 注入方式	()μL ()℃ 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. ハルストースプリット 5. ハルストースプリットレス 6. その他
キャリヤガス 種類 流量 注2) 圧力 注2)	1. 窒素 2. ヘリウム 3. その他() ()単位:1. mL/分 2. cm/秒 ()単位:1. psi 2. kPa 3. その他()
メイクアップガス 種類 流量 注2) 圧力 注2)	1. 窒素 2. ヘリウム 3. その他() ()単位:1. mL/分 2. cm/秒 ()単位:1. psi 2. kPa 3. その他
MS 型式 装置型式 イオン検出法 測定時の分解能 イオン化方法 電圧 電流 光源温度	1. Auto Specシリーズ 2. JMS700シリーズ 3. JMS800シリーズ、4. JMS(2. 3. 以外) 5. MAT95シリーズ 6. SX102 7. 5972シリーズ 8. 5973シリーズ 9. 5975シリーズ 10. 6890シリーズ 11. QP 5000シリーズ 12. QP5050シリーズ 13. QP2010 14. オートマスシリーズ 15. その他() 1. 単収束 2. 二重収束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. タンデム(MS/MS) 6. その他() 1. SIM法 2. マスクマトグラム法 3. その他() () 1. EI 2. NCI 3. その他() ()V ()μA ()℃

注1) GC/MS 又は GC/ECD により該当する箇所に記入する。

注2) 流量又は圧力を記入する。

分析結果報告書 [10] 18 / 20

<標準物質>

標準物質 (液) の種類 P C B (対象物質)	1. KC-300~KC-600の等量混合物 2. 1~10塩素化物を各ひとつ以上含む混合物 3. その他 ()
サロゲート 種類	1. 使用しない 2. 使用する 1. 1~10塩素化物を各ひとつ以上含む混合物 2. その他 ()
シリンジスパイク 種類	1. 使用しない 2. 使用する 1. ペリレン-d 12 2. その他 ()
標準物質 (液) の製造メーカー P C B (対象物質)	1. CIL 2. Wellington 3. Accu Standard 4. その他 ()
サロゲート	1. CIL 2. Wellington 3. Accu Standard 4. その他 ()
シリンジスパイク	1. CIL 2. Wellington 3. Accu Standard 4. その他 ()
標準液の調製からの経過月 P C B (対象物質)	() 月
サロゲート	() 月
シリンジスパイク	() 月

<検量線の作成>

検量線 作成方法 (定量法)	1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 4. サロゲートを用いた内標準法 5. その他 ()
作成点数	()
作成範囲濃度	最小 () ~ 最大 () $\mu\text{g/L}$ 注1)
繰り返し数	()
サロゲート濃度	() $\mu\text{g/L}$
シリンジスパイク濃度	() $\mu\text{g/L}$
装置安定性 感度変動 注2)	() %
保持時間変動 注3)	() %

注1) 異性体で濃度が異なる場合には、その中の最小濃度、最大濃度を記入する。

注2) 検量線作成時の RF の変動 (最大値) を記入する。

注3) 検量線作成時の保持時間の変動 (最大値) を記入する。

<IDL 及び MDL>

装置検出下限値 (IDL)	() mg/L 注1)
IDLの算出方法	1. 底質調査方法 II 2. 2に記載されている方法に準ずる。 2. モニタリング調査マニュアルに記載されている方法に準ずる。 3. 底質の暫定除去基準に記載されている数値を引用 4. 3σ 法で計算 (4.の場合 σ の算出法: (濃度) mg/kg (繰り返し回数) (回) 5. その他 ()
分析方法検出下限値 (MDL)	() mg/kg 注2)
MDLの算出方法	1. 底質調査方法 II 2. 2に記載されている方法に準ずる。 2. モニタリング調査マニュアルに記載されている方法に準ずる。 3. 底質の暫定除去基準に記載されている数値を引用 4. 3σ 法で計算 (4.の場合 σ の算出法: (濃度) mg/kg (繰り返し回数) (回) 5. その他 ()

注1) 分析装置で測定する溶液中の濃度を記入する。

注2) 試料濃度を記入する。

分析結果報告書 [10] 19 / 20

<内標準物質 (サロゲート及びシリンジスパイク) の添加量と回収率> (GC/MSの場合に記入する)

内標準物質	サロゲート		シリンジスパイク
	添加量 (ng)	回収率 (%)	添加量 (ng)
塩化ビフェニル (4-Chloro ^[13C12] biphenyl)			
二塩化ビフェニル (4,4' -Dichloro ^[13C12] biphe nyl)			
三塩化ビフェニル (2,4',5'-Trichloro ^[13C12] biphe nyl)			
四塩化ビフェニル (2,2',5, 5'-Tetrachloro ^[13C12] biphenyl)			
五塩化ビフェニル (2,3',4, 4',5'-Pentachloro ^[13C12] biphenyl)			
六塩化ビフェニル (2,2',4, 4',5,5'- Hexachloro ^[13C12] biphenyl)			
七塩化ビフェニル (2,2',3,4,4',5,5'-He ptachloro ^[13C12] biphenyl)			
八塩化ビフェニル (2,2',3, ',4,4',5,5'-Octachloro ^[13C12] biphenyl)			
九塩化ビフェニル (2,2',3, 3',4,4',5,5',6'-Nonachloro ^[13C12] biphenyl)			
十塩化ビフェニル (2,2',3,3',4,4',5,5',6, 6'-Decachloro ^[13C12] biphenyl)			
ペリレン-d 12			
その他 ()			
その他 ()			
その他 ()			
その他 ()			
その他 ()			
その他 ()			
その他 ()			
その他 ()			
その他 ()			
その他 ()			
その他 ()			

<空試験値及び感度係数> (空試験値が検出されない場合は、その項目の欄は記入しない)

対象物質	空試験値 (μg/kg) 注1)	感度係数 (RF) 注2)	検出下限 (μg/kg) 注3)
塩化ビフェニル			
二塩化ビフェニル			
三塩化ビフェニル			
四塩化ビフェニル			
五塩化ビフェニル			
六塩化ビフェニル			
七塩化ビフェニル			
八塩化ビフェニル			
九塩化ビフェニル			
十塩化ビフェニル			
P C B			

注1) 同族体 (同一塩素数の全異性体) としての値を記入する。試料濃度(μg/kg) に換算する。

注2) GC/MSの場合に記入する。同族体中の全異性体の平均RFを記入する。

注3) 同族体としての値および全体の値 (PCBとしての検出下限) を記入する。試料濃度(μg/kg) に換算する。

分析結果報告書〔10〕 20 / 20

<測定（定量用）質量数>（四重極型MSの場合）

対象物質	質量数 注)			
塩化ビフェニル	1.188.0	2.190.0	3.152.0	4.その他 ()
二塩化ビフェニル	1.222.0	2.224.0	3.152.0	4.その他 ()
三塩化ビフェニル	1.256.0	2.258.0	3.186.0	4.その他 ()
四塩化ビフェニル	1.289.9	2.291.9	3.293.9	4.その他 ()
五塩化ビフェニル	1.325.9	2.323.9	3.327.9	4.その他 ()
六塩化ビフェニル	1.359.8	2.361.8	3.357.8	4.その他 ()
七塩化ビフェニル	1.393.8	2.395.8	3.397.8	4.その他 ()
八塩化ビフェニル	1.429.8	2.427.8	3.431.8	4.その他 ()
九塩化ビフェニル	1.461.7	2.463.7	3.465.7	4.その他 ()
十塩化ビフェニル	1.497.7	2.499.7	3.495.7	4.その他 ()

注) 各塩素化合物ごとに定量に用いた質量数を一つ選択する。

質量数の表記は、記載しているマニュアル等により異なることがあるため、質量数1以下の値では近い質量数を選択する。

<測定（定量用）質量数>（高分解能MSの場合）

対象物質	質量数 注)		
塩化ビフェニル	1.188.0393	2.190.0364	3.その他 ()
二塩化ビフェニル	1.222.0003	2.223.9974	3.その他 ()
三塩化ビフェニル	1.255.9613	2.257.9587	3.その他 ()
四塩化ビフェニル	1.289.9224	2.291.9195	3.その他 ()
五塩化ビフェニル	1.323.8834	2.325.8865	3.その他 ()
六塩化ビフェニル	1.359.8415	2.361.8386	3.その他 ()
七塩化ビフェニル	1.393.8025	2.395.7996	3.その他 ()
八塩化ビフェニル	1.427.7630	2.429.7606	3.その他 ()
九塩化ビフェニル	1.461.7246	2.463.7216	3.その他 ()
十塩化ビフェニル	1.497.6826	2.499.6797	3.その他 ()

注) 各塩素化合物ごとに定量に用いた質量数を一つ選択する。

質量数の表記は、記載しているマニュアル等により異なることがあるため、質量数0.01以下の値では近い質量数を選択する。